



2015年9月17日

児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会  
委員長 松原 康雄 様

公益社団法人日本社会福祉士会	会長	鎌倉	克英
公益社団法人日本精神保健福祉士協会	会長	柏木	一恵
一般社団法人日本社会福祉士養成校協会	会長	長谷川	匡俊
一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会	会長	伊東	秀幸
一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟	会長	二木	立
一般社団法人日本社会福祉学会	会長	岩田	正美

「児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会報告書」に関する  
提案及び依頼

貴職におかれましては、児童虐待防止施策の推進に日々ご尽力されていることに敬意を表します。

さて、2015年8月28日付け「児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会報告書」が公表されました。私たち、社会福祉士及び精神保健福祉士関係5団体及びソーシャルワーク研究者が多数所属する日本社会福祉学会は、本報告書の、とりわけ児童相談所が専門的な支援を確実に実行するための体制強化（報告書3-(4)- : pp13-15）について、下記及び別紙のとおり提案いたしますので、今後の専門委員会における検討に付していただけますよう、お願いいたします。

なお、下記4点及び付随する論点と意見の詳細につきましては別紙のとおりです。

記

**3-(4)- -イ：「児童相談所職員の専門性の確保のための専門研修を充実」について**

児童福祉司をはじめとする児童相談所職員の専門性確保に向けた専門研修体系構築のため、私たちは相応の貢献ができるものと認識しており、積極的に協力していく所存ですので、専門委員会におかれましても、私たちが保有する資源の積極的な活用を検討してください。

**3-(4)- -ウ：「児童福祉司の国家資格化」について**

新たな資格を検討するのではなく、（または検討する前に）すでにソーシャルワークに着目した厚生労働省所管の国家資格である社会福祉士及び精神保健福祉士の登録者が約26万人おりますので、これら国家資格の積極的活用を前提とした検討を提案します。

**3-(4)- -ウ：「資格化の検討に限らず、児童福祉司の専門性を高める方策」について**

いわゆる三科目主事（社会福祉主事指定科目のうち3科目を修めて大学を卒業すればよい）については、対人援助職に必要な体系的な教育を経ない任用ルートです。については、児童福祉司の任用にあたっては、社会福祉士養成施設ルート等（通信課程の活用など）を活用することにより、現在の児童福祉司に社会福祉士や精神保健福祉士を取得させて、将来的にはこのルートを廃止する必要があると認識しています。

**「新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会」及びWGへの参加について**

社会福祉士・精神保健福祉士関係の立場から専門委員会委員として参加できるよう、お取り計らいください。

## 「児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会報告書」に関する 論点と提案及び依頼の詳細

### - イ：「児童相談所職員の専門性の確保のための専門研修を充実」について

虐待相談件数の急増と困難事例の増加に伴い、児童福祉司にはより高度な専門性が求められていると認識しております。専門研修を充実する方策として、

日本社会福祉士養成校協会並びに日本精神保健福祉士養成校協会は全国 285 校の大学等が会員となって組織される一般社団法人であり、各会員校には児童家庭福祉分野を専門とする教育者・研究者が所属しており、これらの教育者・研究者は、我が国の児童・家庭を対象とした支援や児童家庭福祉制度に精通していますので、専門研修を全国で実施する場合の講師等の人材紹介や実施にかかる会場設備の提供が可能です。

【別添資料 1】

日本社会福祉士会及び日本精神保健福祉士協会は、すべての都道府県に組織があり、児童・家庭分野に関する専門研修を実施しています。また、社会福祉士有資格者が一定の実務経験を経て、研修の単位を取得していく『認定社会福祉士制度』を 2012 年から開始し、認定分野に『児童・家庭分野』を設けて研修を実施しています。児童福祉司の専門研修においてこれらのプログラムをベースとした研修体系の構築と研修機会の提供が可能です。【別添資料 2】

児童福祉司をはじめとする児童相談所職員の専門性確保に向けた専門研修体系構築のため、私たちは相応の貢献ができるものと認識しており、積極的に協力していく所存ですので、専門委員会におかれましても、私たちが保有する資源の積極的な活用を検討してください。

### - ウ：「児童福祉司の国家資格化」について

児童福祉司の専門性の向上を担保する必要性については、私たちも同様に認識しています。また、児童福祉司を「ソーシャルワークに着目した国家資格有資格者」とすることには賛同いたしますが、新たな資格を検討するのではなく、（または検討する前に）すでにソーシャルワークに着目した厚生労働省所管の国家資格である社会福祉士及び精神保健福祉士の登録者が約 26 万人おりますので、これら国家資格の積極的活用を前提とした検討を提案します。

論点は次の通りです。

社会福祉士養成教育のカリキュラムでは、指定科目に「児童・家庭を対象とした支援と児童家庭福祉制度」を必須科目に位置づけて養成が行わ

れており、その教育内容については【別添資料3-1】のとおり、児童・家庭を取り巻く社会情勢の理解や、児童福祉法、児童虐待防止法をはじめとする児童・家庭に対する支援に必要な法制度や支援体制・支援方法についての理解を求めています。また、児童相談所は社会福祉士・精神保健福祉士養成にかかる実習指定施設として厚生労働省告示で定め、資格取得者が児童相談所等において専門性を担保しつつ業務遂行ができるようにすることを想定して教育が行われています。

また、【別添資料3-2】のとおり社会福祉士資格を取得する養成ルートとして、福祉系大学や指定養成施設ルートとは別に、現任の児童福祉司等いわゆる司職の経験が4年以上で社会福祉士短期養成施設（主に通信で最短9ヶ月の課程）を修了すれば、社会福祉士の国家試験受験資格が得られことになっています。これは、平成19年に社会福祉士及び介護福祉士法が改正された際、行政機関の児童福祉司をはじめとする司職の経験が5年以上であれば受験資格が得られたものを、専門性を向上する必要性から養成ルートが見直されたことによるものです。

現在の児童福祉司の任用要件を満たすために必要なルートは、【別添資料4】のルートがありますが、このうち、ソーシャルワークに着目した国家資格をベースとするルートは、専門資格ルートのうち社会福祉士と精神保健福祉士のルートのみとなります。

ただし、児童福祉司における社会福祉士有資格者は23.6%(平成24年)であり、その比率は依然として低く、ソーシャルワーク有資格者は4分の1以下の現状です。

また、上述したとおり、『認定社会福祉士制度』では、認定分野に『児童・家庭分野』設けています。児童福祉司の専門性の向上を促す観点からも、将来的には認定社会福祉士制度を活用することが可能です。

以上の論点から、児童福祉司の専門性の向上を図るために「児童福祉司を国家資格化」については、すでにあるソーシャルワークに着目した国家資格である社会福祉士と精神保健福祉士国家資格の活用を前提に、児童福祉司の専門性向上に向けた検討を行うことを提案いたします。

## **- ウ : 「資格化の検討に限らず、児童福祉司の専門性を高める方策」について**

これは、児童福祉司の任用要件とも関連しますが、児童福祉司を「ソーシャルワークに着目した」人材にするためには、現行の任用要件のうち、とりわけ、いわゆる三科目主事(社会福祉主事指定科目のうち3科目を修めて大学を卒業すればよい)については、対人援助職に必要となる体系的

な教育を経ない任用ルートです。ついては、児童福祉司の任用にあたっては、社会福祉士養成施設ルート等（通信課程の活用など）を活用することにより、現在の児童福祉司に社会福祉士や精神保健福祉士を取得させて、将来的にはこのルートを廃止する必要があると認識しています。

また、任用要件のうち保健師等関連資格等ルートにおいても、実務経験とともに、例えば社会福祉士養成課程のうち最低限必要となるソーシャルワークに関する教育課程の修了を付加し、将来的には社会福祉士や精神保健福祉士の資格取得につながるルート設定が必要であると考えます。

## 最後に

私たち社会福祉士及び精神保健福祉士関連 5 団体並びに日本社会福祉学会は、昨今の子どもを取り巻く社会情勢、子どもの貧困や、虐待の実態、通告件数の急激な増加等により児童相談所に過大な負担がかかり、児童・家庭に対する支援が限界になりつつある状況などを憂慮し、都道府県等の協力を得ながら手厚い人的配置を進めていく必要があると認識しております。

私たちソーシャルワーク専門職である社会福祉士・精神保健福祉士の視点から子ども家庭福祉のあり方の検討に加わることは、子どもの最善の利益を保障する観点からも重要であるとともに、私たちもよりよいソーシャルワーク専門職の養成に尽力し、養成団体と専門職団体が一体となって社会福祉士・精神保健福祉士の専門性向上のために全力を尽くす所存です。

ぜひ、専門委員会における建設的かつ効果的な検討がなされることを期待いたします。

以上

### < 本件お問合せ >

一般社団法人日本社会福祉士養成校協会  
事務局（担当：小森）  
〒108-0075 東京都港区港南四丁目七番八号  
都漁連水産会館 6 階  
電話：03-5495-7242  
E-mail：office@jascsw.jp